

平成23年度 事業報告書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

特定非営利活動法人 薬学共用試験センター

1 事業の成果

平成24年度に薬学実務実習を履修する全国の薬系大学(73大学74校)の6年制課程の4、5年次学生を対象とした第3回薬学共用試験(CBTについては体験受験及び本試験と追・再試験、OSCEについては試験と追・再試験)を実施した。CBT体験受験では大型台風に伴う日程変更が2件あったが、CBT、OSCEの本試験や追・再試験はいずれも大きな支障なく実施することができた。試験システムに関しては大きな修正は不要であったが、大震災などの不測の事態に備え、関東地区に設置しているセンターサーバに対するバックアップサーバを構築し、九州地区に設置、稼働を開始した。次年度中に緊急時運用体制を整備する計画である。

2 事業の実施に関する事項

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	OSCE新規課題およびモニター員説明会を開催し、23年度出題対象の課題の評価ポイントや事前審査手順などを説明した。また、モニター員の役割についても協議した。	平成23年5月22日	慶応義塾大学薬学部	10人	全国薬系大学の教員(約160名)	30千円
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	CBT実施における注意点や第2回本試験で新たに見出された事象などの周知徹底を目的としてCBT説明会を開催した。	平成23年7月12日	京都薬科大学	7人	全国薬系大学の教員(約80名)	207千円
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	CBT実施における注意点や第2回本試験で新たに見出された事象などの周知徹底を目的としてCBT説明会を開催した。	平成23年7月14日	慶応義塾大学薬学部	7人	全国薬系大学の教員(約100名)	40千円
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	第3回共用試験CBT本試験に先立ち、受験学生の練習や運営体制の確認、新規問題の妥当性の検証を目的としたCBT体験受験を実施した。	平成23年7月20日-9月27日	73薬系大学74校	100人	全国薬系大学の教員(約230名)及び薬学生(10,468名)	3,242千円
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	第3回共用試験(CBT、OSCE)の本試験および追・再試験を実施した。	本試験:平成23年12月1日-平成24年1月31日、 追・再試験:平成24年2月21日-3月17日	73薬系大学74校	260人	全国薬系大学の教員(約750名)及び薬学生(10,570名)	7,770千円